

「自立する市民に」

昨年の冬は大雪で、除雪が大変でした。雪が降らない今年は大変過ごしやすい冬です。でも、寒い冬を待っていた方も大勢います。暖かい冬は、冬物が売れない、スキー場もダメ、鍋物の野菜や魚介類が売れない。地球温暖化の影響でしょうか。海水温も例年より高く、沿岸漁業の方では鱈が捕れない、秋のカマスが今でも捕れるなど、変化がおきているようです。ノロウイルスの風評被害で売上が激減の能登かきの生産者は、死活問題だと心配されています。

Talk about とくあばうと



七尾市長 武元平

また、野菜が豊作で、能登白ねぎも安値続きで生産者が泣きました。過ごしやすい冬の後の天候が心配です。日照り、水不足、病害虫の異常発生などに備えなければなりません。自然の力はどうしようもありませんが、先人は一人ひとりが天候を予測し、災害への備えと被害を止める手だてを考え行動してきました。

今は、科学の進歩で予測能力も高まり、多くの情報に頼れませんが、自分で考えることが少なくなり、自分の判断までも情報にゆだねる傾向が強くなっています。

そして、問題が起これば他人のせいにしたり、国や行政に対応を求めたりすることで、自分で責任を取ろうとしない人が増えたような気がします。自己決定・自己責任が市民一人ひとりにも求められます。

七尾市も、子孫にツケを廻さないために、これ以上もの豊かさや便利さを求めることよりも自立する自治体を目指さなければなりません。

市民一人ひとりの生きる力を高め、市民の自立を支援する施策がこれまで以上に大切だと切に思うこの頃です。

市長へのメール「前略市長さん」(<http://www.city.nanao.lg.jp/shicho/index.html>)では、市民のみなさんからのご提言、ご質問などをお待ちしています。

市長談話室

開催日程

3月1日(木) 15:00～17:00

会場：能登島支所 1階 応接室

お申し込み・お問い合わせは

男女参画まちづくり課

☎ 53-1112

※公務により、中止になる場合があります。

子どもからお年寄りまで、どなたでも談話できます。気軽に、市政に対する提言やアイデアをお聞かせください。

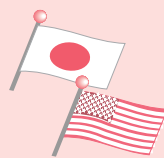
※お申し込みは1週間前までにお願いたします。また、お申し込み多数の場合は、抽選になります。

国際交流コラム

冬の過ごし方

七尾市国際交流員 (アメリカ)

ジヨエル・クワッツ



日本の冬は、コタツでミカンという組み合わせのイメージですが、アメリカ人はどう過ごすのでしょうか。

寒い地域では、家の暖炉の近くに座り、本を読んだりテレビを見たりする人がいます。

また、1月は1950年代の市民権運動に重要な役割を果たしたアフリカ系アメリカ人キング牧師の記念日があり、2月は昔の大統領を記念する「プレジデント・デー」があるので、小学生たちがア

フリカ系アメリカ人と大統領の歴史を勉強します。

2月14日はバレンタインの日です！大学生や社会人はたいい食べに行きますが、小学生は授業でカード作りをして交換をします。

高校生は好きな人にお菓子やバラの花をあげる人がいます。高校によりですが、早めに頼めば高校の合唱部が自分の好きな人がいる教室に突然来て、バレンタイン・ソングを歌ってくれるという習慣もあります。私は、経験したことはありませんが…この特別な日々を通してアメリカ人は冬を越えて春を迎えます。